

進路便り

(雄勝高校進路指導部) No. 5 平成30年9月28日発行



9月16日から民間企業の就職試験が解禁になりました。企業によって試験日は違いますが、本校の生徒は1名を除いて今月で最初の就職試験は終わります。うまく内定がもらえればいいのですが、だめだった場合は、まだ募集している企業を探して受験することになります。毎日どきどきしながら郵便が届くのを待っています。

就職希望者

	県内	県外	公務員	合計
男子	8	3	2	13
女子	3	3	0	6
合計	11	6	2	19

内定状況 (9/28現在)

県内：秋田指月、秋田エプソン
チバ・テクノ、川将工業
ナガタエンジニアリング
県外：スターツ、フジパン
第一貨物

今年は、就職試験が解禁になる前に県外企業から2次募集、追加募集の案内がきています。また、内定通知に同封されて、追加募集の案内がきた企業もあります。少子化に加え、今まで採用していなかった企業も採用を始めたために人手不足状態になっていると考えられます。ちなみに職種は、空港の職員(荷物を飛行機に積み込む作業や警備関係)、介護職、飲食店、美容師見習い、建設業、ガソリンスタンド等です。

県内企業でも、人事担当の方と話をすると思うように集まっていないようです。

○卒業生による進路講話

9月18日に本校卒業生による進路講話を行いました。昨年度は就職して半年の卒業生だけでなく、就職3年目の卒業生にも来てもらい好評だったので、今年も3年目の卒業生に来てもらいました。

27年度卒：湯沢牛玄亭

今春卒：雄勝なごみ会、タカヤナギ、秋田エプソン、菅組



どの会社にも服装や頭髪に関して規定があることに驚きました。接客業ならばわかりますが、製造業や建設業にも通勤時や仕事中の整容にルールがあり、その理由に納得しました。また、「勝高の整容検査をクリアしてれば大丈夫」、「女子の触覚ヘアはだめ」という話が印象的でした。

授業や進路便りで、働くようになっていろいろな資格が必要になり、勉強するケースがでてくるということを知りましたが、そのことを実感している人もいました。入社後資格取得に努めてきて、今度は除雪に向けての資格を取る予定だそうです。建設業関係は、資格がないとできない仕事が多く、資格を取らせるため費用を会社が負担するケースも多くあります。

昨年も感じましたが、就職3年目の卒業生は話す内容や立ち居振る舞いが他と違い、人間的にも成長が感じられました。入社試験の面接で「店長を目指します」と断言した卒業生なので、その日を楽しみにしています。

○寮

昔は寮といえば、一部屋に2~3人入るのが普通でしたが、今はプライベートの確保ということで、一人一部屋が多くなっています。また、民間のアパートを会社が借り上げて、社員に割り振っていて、寮とはいうものの実質アパート生活というケースも多くあります。この場合は家賃は安いものの、光熱費や食費は実費がかかります。また、学生寮も、最近は業者が運営している学生寮と契約しているケースが多く、他の大学・短大、専門学校の子生も入寮しています。また、寮費も決して安くありません。逆にアパートを借りた方が安いケースもあります。